

2002年11月
第49号

特定非営利活動法人
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F Iイヅル
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ http://www.osakacity-vnet.or.jp/link/hukuteku/

私達の会はこの度NPO法人格の取得を受けて会の名称を「福祉と住環境を考える会」から「ふくてっく」に改め、新しくスタート致しました。と申しましたも運営方針や活動内容を大幅に変えたわけではなく、ゆるやかにNPO法人へ移行するという形をとっております。しかしNPO法人になりますと、事務経費の発生や税金が課され、ある程度の収益をあげていかなければ運営が成り立たなくなります。このことはこれからの大きな課題になってまいります。「ふくてっく」は有償の活動団体ですが、いかに社会に貢献するかが活動の大きな目標の一つです。従いまして、そのためには会独自の活動だけではなく、他のボランティアをはじめ各種福祉団体・行政・企業との連携が必要になるものと考えます。

現在「ふくてっく」ではNPO法人設立を期に設計部会を中心となって一級建築士事務所登録を準備中です。今後グループホームや福祉施設等の設計業務を受けるようになりませんが、こうなると高齢者・障害者、つまり利用者や地域住民あるいは行政との話し合いの場を持つことになり、その推進役となる「ふくてっく」は新しい形のハードとソフトを創造し、提案を行い、社会的な評価を得るということになるでしょう。今後の設計部会の活躍によって地域社会に新しい風が吹くことを期待いたします。

また、中北事務局長をして大阪市立の老人介護ホーム「塩楽荘」から施設の一部を高齢者・障害者の利用に対応すべく住環境整備の依頼がありました。ここには企業の協力を得て、適切な福祉用具と設備の導入も

NPO法人取得 までの経緯と概要

畑 俊治

ふくてっくNPO法人取得までの経緯

1998年 3月	日本において特定非営利活動(NPO)推進法制定(辻元清美氏が法制化)
1998年 7月	ふくてっくにおいて、NPO法人化準備委員会発足
1998年12月	大阪NPOセンター会員登録
1999年 3月	NPO法人化に向けてNPOについての講習会、研修会に参加開始
1999年 7月	ふくてっくにてNPO勉強会開始
2000年 2月	NPO法人定款、設立趣旨書作成開始
2000年10月	NPO法人化暗にのる。法人化に向けての手続き中断
2001年 5月	法人化に向けての準備再開
2001年10月	NPO法人設立認証のための定款他作成
2002年 1月	大阪府生活文化部府民活動推進課にてNPO法人認証手続きについて協議
2002年 3月	設立認証申請書素案提出、協議
2002年 4月	設立認証申請書一式提出
この間、数回訂正指示を受ける	
2002年 5月	申請受理
2002年 8月	認証完了
2002年 9月	法人登記申請
2002年 9月6日	NPO法人ふくてっく設立

上記、NPO法人設立までの経過をご紹介いたしました。概要を説明させて頂きました。

■NPO法人促進法とは？
特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること等により、ボランティア活動をはじめとする市民が自由な社会貢献活動として、特定非営利活動の健全な発展を促進することを目的として制定されました。

■法人とは？
ただの人の集まり(今までのふくてっく)は、人格なき団体です。法人になることにより、権利・義務の主体となり、社会的認知を得られます。今までは、いろんな契約・銀行帳も杉浦代表の名前で行わざるを得ませんでした。

■会員は社員に！
給与は出ませんが、会員はNPO法人ふくてっくの社員になります。

■法人化のメリットは？
①契約の主体となる
②海外での活動がしやすい(海外で活動した場合、NGOという名称になります)
③助成金・補助金を受けるのに有利で、市や各種法人からの仕事(活動)の依頼を受ける機会が増える(ほ

とんどの団体はこの理由により法人設立をしていますが、

■法人化のデメリットは？
①官公庁への届け出のため、手間とコストがかかる(これが大変だということ、いろんなNPO法人から聞いています)
②法人住民税がかかる
③課税対象としてきちんと捕捉される(④残余財産が戻ってこない)
■会社と同じ！?
マネージメント(経営)が必要で、より一層の事務局体制の充実が要求されます。

■現在の日本のNPO法人の数は約7000です。大阪府の場合、1日1件の設立認証申請があるくらいで、これからますます増加していくものと思われま。ちなみにアメリカでは150万団体、その中の雇用は1500万人以上、全雇用の8.5%、イギリスで50万団体、無給のボランティア300万人。

■いざこれにしてみてもふくてっくは単なるボランティア集団から、社会認知された法人として再出発するわけですから、いろんな制約、しがらみにめげずに頑張ってくださいませ。

特定非営利活動(NPO)法人 「ふくてっく」設立にあたって

代表 杉浦 史郎

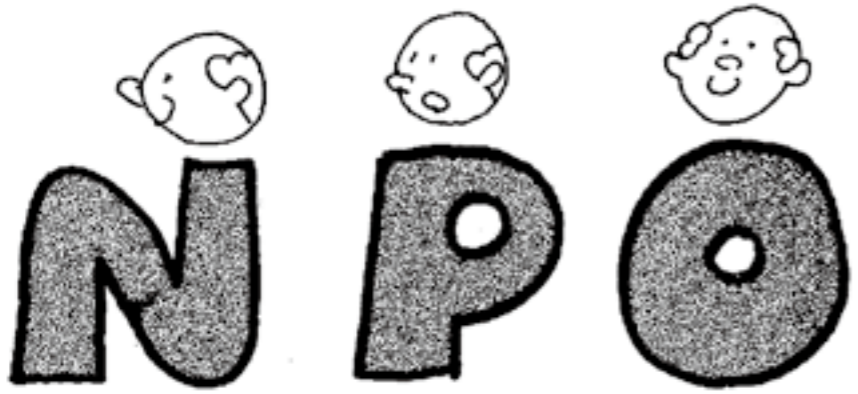
計画しています。こういった企業への働きかけから維持管理・運営に至るまで「ふくてっく」が依託業務として継続的に行ってまいります。

今後「ふくてっく」の活動は多様化の方向にいくと

考えられますので、できるだけ多くの会員が活動していただけることを願っております。しかし実際には活動する人は一部に片寄ってしまうがちです。どうしたらよいでしょうか？良い知恵がありましたらご提案下さい。

また、例会の後、運営懇談会を行っておりますので、ご参加ください。会員の皆様方の意見を「ふくてっく」の運営に反映させていきたいと思っております。

ふくちゃん 菖野 光



NONKINI PATAPATASEZU OGORAZU

「ふくてっく」NPO法人設立!!

定例会のお知らせ

内容	日時	場所
未定	11月11日(土) 午後1時30分~5時	大阪市立社会福祉センター 内会議室(予定)
未定	12月7日(土) 午後1時30分~6時	南港ATC OS棟北館5階 大会議室

・NPO法人ふくてっく設立記念パーティ
講師 三浦 久子氏 副代

新しくなりました! マークとロゴ

NPO設立を期にマークを一新、会の名称も「ふくてっく」となりました。

マークは「ふくてっく」の「ふ」を造形化し、上の●と▲で人(当事者)、左右の●はそれぞれ住環境・福祉を表しています。人・住環境・福祉のネットワーク化を計り、地域福祉コミュニティを築いていきたいとの願いが込められています。ロゴは「HG丸ゴシック M-PRO 太字」です。

★編集後記★
改めて思い起せばNPO設立までの道のりは長かったですね。その手続きを一手に引き受けられた畑さんのご苦労も相当なものと思われま。ぐちひとつふたつこぼしながらも、いやな顔ひとつふたつしながらも、成し遂げてくださり、感謝しています。

会に参加する人の思いは様々です。「踊るあほうに見るあほう。同じあほうなら踊らにや損々。」自分の勉強になるからと参加されている方、中に入って、一緒に踊りませんか?もつと楽しく、もつとふくてっくが好きになりますよ。踊っている人はまだまだ一部です。踊り方のわからない人は、「私踊りたい」と声をあげてください。

(和泉)

東淀川 区民まつり

9月15日(日) 東淀川区民まつりで木工教室が行われました。会員の高木さんの紹介で、参加者は有馬さん・八木道夫さん・渡辺さん・光川でした。

ふくてっく木工教室の定番となりつつあるネジアニマルを60名分用意し、当日を迎えました。56名の親子が挑戦、スタッフもいつのまにか子ども達の中に入っ

東淀川 区民まつり



1本の角材とネジでクマ・

キッズプラザ

10月6日(日) キッズプラザで木工教室があり、川崎さん・平松さん・中北満さん・光川の4人が参加しました。作品はネジアニマ

キリン・ウマ・ワニの中から自分の好きなものを作ります。

皆が熱心に取り組んでいる姿があり、企画をしたふくてっくはこの区民まつりで人の心に大きなものを投げかけたように思います。



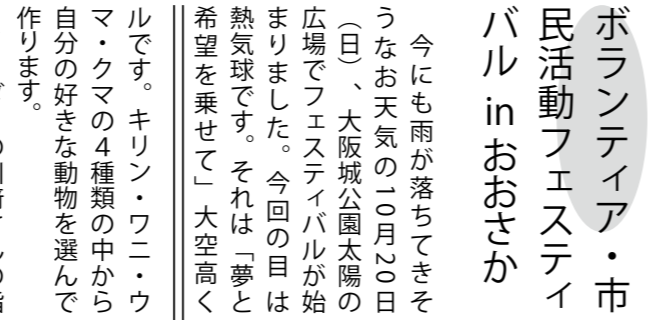
その後、2ヶ月の家庭療養を続けるうちに大学受験

ボランティア・市民活動フェスティバル in おおさか

今にも雨が落ちてきそうなお天気。10月20日(日)、大阪城公園太陽の広場でフェスティバルが始まりました。今回の目は熱気球です。それは「夢と希望を乗せて」大空高く

舞いあがって行く筈です。ところが、ところが風があり、中止となったようです。残念でした。

広場には200団体もの参加による出し物で大賑わい。遊ぶところあり、食べるところあり、福祉・環境・国際交流等々。ふくてっくは「遊・ゆうコーナー」で木工教室を行いました。



ライバーでネジをとめ、手・足・首の部分動く動物を楽しそうに作っていました。小学校1年の女の子が最初は平気な顔を

していたのに、木を切り終わった頃泣き出しました。母親は知らん顔、私はその子を抱きしめてどうしたのかと聞いてあげると「怖かった」。

に造影剤を入れて診断しようとするのを激怒して止められたのである。血色をみれば順調な血流は明らかである。なんの為に患者に負担を強いてデーターを摂る必要があるのか。医療は誰のためにあるのか。私の医療観が芽生える契機となった。一生の仕事にしてもいいのではないか。

お天気のせい、かいつもより出足は悪く、お昼頃になってようやく子ども達が増え活気づいてきました。ふくてっく会員に加えてボランティア3人も参加、スタッフは充実しています。

ネコの壁飾り

ステージは気になると、パフォーマンスも見たいし、美味しいものは食べたいし、バザーもお買い得！私は気もそぞろで広場中を行ったり来たり。いや、お祭りって楽しいですね！

トラック型エンピツ立て

3時頃になって降り出した雨がどうやら本降りになり。予定を繰り上げての店じまいとなりました。少し残念な終わり方となりましたが、十分に楽しめた一日でした。皆さん、お疲れさまでした。

由に物作りをし、今回はそれに加えて、3種類の作品を準備しました。(木工部の方、ありがとございませう。トランプ型エンピツ立て、昇り人形、ネコの壁飾りです。



ネコの壁飾り



トラック型エンピツ立て



スタッフはやる気マンマン

私の医療観を語るには、私自身の生い立ちから話さねばならない。私は昭和8年大阪市谷町7丁目に生まれた。父も母も働き者で、それは私にも受け継がれている。

かつて日本の医療は、町医者が支えていた。医院もいたって粗末で、それでいて世界的な研究者もいたし、夜中でもすぐに往診をしていただけだ。まさに日本人の健康管理は町医者によって守られていたのだ。しかし、救急医療のレベル



病院の裏

9月定例学習会 平成5年9月7日(土) (株)メディカルステーション 部長 香川 雅昭 氏

高校ではラクビー部に入ったのだが、この頃病院に関する鮮烈な体験をした。ある日、ボールに頭をぶつけて、その日は少し気分が悪い程度であったが、翌日になると体が不随になっ

の時期を逸したうえ、父が胃の全摘手術を受けて入院し、その為に父の代役を3年間務める事になった。当時はインフォームドコンセントという考え方が無かった。父の病状について一切の説明がなく、本人は癌でもないのにすっきり癌だと思ひこんでしまっ困ったものだ。

思えば、以上のような自身や家族の入院体験が、今こうして医療の世界に入っ

川崎医科大学病院に就職をし、そこで整形外科の松田先生に出会ったのが私の転機になる。この方は指、手切断の縫合の世界的権威であるが、ある時縫合した指の血流を確認するため

に造影剤を入れて診断しようとするのを激怒して止められたのである。血色をみれば順調な血流は明らかである。なんの為に患者に負担を強いてデーターを摂る必要があるのか。医療は誰のためにあるのか。私の医療観が芽生える契機となった。一生の仕事にしてもいいのではないか。

あまりに頻りに心臓発作が起るので徹底的に体を調べて肝臓に癌を見つけた。外科の先生はすぐに切ろうとするが、ここで堀先生に「切るのはいつでもできる。長い人生、切らずに済む方法があるならやってみよう」と言われた。一には、切った場合にどうなるかという情報が患者に届いていない。あらゆる情報があつて、本人が選択する事が大切だ。



(記 中北 清)

は低く、とりわけ診断設備が不十分であったので、乳幼児や子供の死亡が多かった。親の中にも結核や脳出血などで亡くなった者が多い。

医療点数を引き上げて民間病院が儲かる体制が、どんどんと医療施設が、今のように気軽に行く所ではなく、まだまだ特な存在であった。

医療をめざす第一歩は岡山の医療技師学校であった。それは入学金も授業料も免除という事情によるものであった。学校では殆ど授業には出ず、朝昼晩とバイトに明け暮れた。実家へ仕送りをする必要があったのである。親譲りの働き者であったので苦にはならなかった。医療は、私にとってはまだ生活のために、という動機でしかなかったのである。

近年、医療事故が取りざたされている。実際、考えられないような事故が、ちょっとしたミスで起こりうる。医師は医療事故によって育つてゆくという。かく言う私も重い十字架を背負っているのである。検査中にも異変は起こる。とにかく一瞬も気を緩める事は許されない。医療事故には不可抗力によるものもあるが、それらを含めて事故要因や責任の開示は、まだまだその意識は薄い。

話すべき事について話せず、長い期間に亘って苦しむ事もある。だいたい事に

故に関わった看護師は、悩みのために退職する事が多い(医師はそういう事が無い)。しっかりとした医療観を持つようになると、こだわり無く話が出るようになる。いい医師や病院を見つけて患者が集まるところに、益々患者が集まるが、人気のある医師が必ずしも腕がよいとはかぎらない。本人や家族に苦言を呈する医師は嫌われるが、得難い医師である事も。長く医療の世界にいて、患者の生命力を感覚的に感じる事ができるように。また、子供の持つ信じられない生命力に触れる事もあつて、益々人体がわからなくなる事もある。とにかく、これからの医療をめぐり、自分と同じ考えを持つ人と力を併せてやってみよう。

住宅改造事例報告

A 依頼内容
B 日常生活と家庭状況
C 解決方法
D 改善後の状況と考察

旭区 Y邸 77歳 女性
A 寝屋川市の川本介護保険事務所の川本さんより「ふくてつく」に、介護保険を使った住宅改修の相談があった。対象者は、市内旭区に住む77歳の女性で、ご主人と二人暮らし。今回、玄関に手摺の設置と、床の滑り防止材への張り替え、浴室の手摺設置、洗脱衣室の床の張り替え、洗面台の交換、台所の床の張り替え、システムキッチン、娘婿側が設備関係会社なの

で、商品は購入するの取付けと設備工事の依頼があった。
設計と申請担当として会員の磯田、施工担当として大和建設の立溝が受持つことになった。
B 対象者は、立ちくらしがひどく、真直ぐ歩けず斜めに進む。耳鳴りもひどく、聞こえにくい状態である。更に歩行不安定な為、各所に手摺の設置を要望された。
C 現況は、ご主人(87歳)



浴室 手摺取付け前



浴室 手摺 取付け後

と二人暮らしで、築年数は不明だが、27〜28年前に建直した、2階建ての自己所有の木造住宅である。娘さん家族は、寝屋川市に住んでおり、娘さんから川本さんに相談があった。

同時に、床の状況も悪かったため、フローリングのやり替えを施した。浴室も手摺が無く、浴槽の出入りに不安定な状況だったので、壁にL型手摺と横手摺を設置した。

同時に、床の状況も悪かったため、フローリングのやり替えを施した。浴室も手摺が無く、浴槽の出入りに不安定な状況だったので、壁にL型手摺と横手摺を設置した。

洗面器取替えおよび給排水・水栓金具改修前



玄関手摺工事前



玄関手摺工事後

きく、また壁には手摺が無いが、造り付の下箱が手摺代わりになっていた。しかし、下箱が玄関の割には大きすぎ、狭い状態を作り、将来の事を考え撤去し壁の補修と、手摺下地補強を施した。

洗面器取替えおよび給排水・水栓金具改修後

洗面器取替えおよび給排水・水栓金具改修後

更に、台所にIHクッキングヒーターを埋め込んだ、システムキッチン据付の工事を受持ち、床の張り替え工事も施した。

況を考察して不具合が無いが、聞いて行こうと考えている。(記 磯田 吉郎)

ケアの神髄



10月定例学習会

平成14年10月5日(土)
大阪医専 救急救命士
朝倉 敬 氏

私は、初めはある精神病院の生活指導員になった。採用の接で、野球はできるか、歌は得意かと聞かれて不思議に思ったが、それは精神病院の入院患者に生活のリズムをつけるためであった。

患者は投薬の影響もあって、放っておくと一日中ゴロゴロと寝ている事になりがちなのだ。朝はなかば強引に起こし、ふとん上げ、ラジオ体操、朝食：と次々に行動をリードして行かねばならない。作業療法という名のもとに、内職仕事を

元気な患者には病院の内外の清掃をせよ。結核に患者が病院の使役に使われていた。そんな事だから、病状が治まっても本当の社会性は身につかないから、退院してもすぐに戻ってきてしまうのである。やってもやっても甲斐がないのだ。

中学生の頃に発症して、50才になっても入退院を繰り返す人も多く、病院は老人病棟化するようになる。そこで、若い患者と老年寄りの患者を分けて、老人病棟を設けた。50才以上の、「お世話(ケア)」を要する方を収容するのであるが、普のお年寄りではないから大変だ。

CUREとCAREの違いがわかるだろうか？CUREとは医療的な療法によって病気を治す事をいうのに対して、CAREとは、その人の状況を受け入れて、どう生活を支援するかという事である。ここで、CAREを単なる「介護」と考えてはいけない。その人が生きてゆく事に關する心配、気遣い、要するに「他者に関心をむける」気持ちが必要なのだ。人に言われるから、仕事だからとする世話はケアとは言えないのである。

私が務めた、痴呆性老人病棟というのは、あくまでも病気を治すCUREの世界なのであるが、たして本当に治るのだろうか？疑問に思える。とにかく、家庭でのケアが限界を超えた人が集まってくるのだから、とんでもない事が起こるのだ。患者には、元社長だとか保健所の所長だった人、医師だった人など様々だが、便を食べる人、体温計を食べる人、一夜で病室の壁紙をきれいにがす人、なにをいしてかすか、計り知れない。ご飯を食べさせる事だけでも大変なのだ。そんな事だから、普のケアではとても用しない。そんな人が病棟に5人もいいるのだから、ついにはこちらの体がポロポロになって、もう自分は臨床は無理だと悟った。

次に神戸製鋼が有料老人ホームを創るプロジェクトに参加する事になった。医療の世界では、治療という目的から生まれる個の犠牲を痛感していたので、ここでは「ケアとは何か」という命題からスタートした。当たり前の生活を実現するための個の追求の限界に挑戦したのである。3年後にドマー二神戸を立ち上げたが、これは元

来、神鋼の幹部役員のお後施設として企画された側があり、入所するのに億単の資産が必要という、高額の老人ホームである。棟にケアセンターがあって、要介護になった場合のナーシングホームも充実している。私自身はオープン後は「ライフサポート」という、入所した方でお元気な方々の生活支援、例えばホテルサービスを担当する事になった。先の痴呆性老人病棟におけるケアとは、まさに両極端に置けるケアを体験したのである。

人間が最後までこだわるのが食事であるが、口の肥えた方ばかりであるから、私などから見ればこんなに美味いのに苦情がきつく、業者は既に3回くらい替えている。何十年か培ってきたライ

フスタイルのそれぞれに合わせるなんて事は不可能に近いと思いついたのだ。食事を選ぶといつても、和洋の2種類くらいだし、2時間いつでも入浴できるとしたけれども、夜中に事故が起これば、それも制限せざるを得ない。自主管理を尊重して入居者主体の運営会議を行うのだが、入居者には弁護士や医師など、そうそうたる顔ぶれであるから、会計報告なども、へたな株主総会の比ではない。

神鋼では、今3つ目の施設の企画に着手している。ドマー二神戸は、230区画だが殆ど満杯状態で、まだまだ需要は高い。お金をもっているお年寄りはたくさんいる。自分には、とても入れる施設ではないが、プロジェクトに参加できたのは楽しい経験であった。それぞれのライフスタイルを全うさせようとする生活を

創る事は難しかったが、少なくとも有料老人ホームに入ることが、その方のステイタスに匹敵するものにはできたと感じる。様々な人生、老後の一つの選択肢として、このような老人ホームがあってもいいのではないかと。

以上、二つのケアの世界を体験して、CAREのあるべき道は、まずそれぞれの老後における個の尊重、主体性の回復である。誰かに支援してもらおうののではなく、自らが選ぶ事が欠かせない。直接手をさしのべる単純なケア(介護)よりも、見守ることが大切である。やってあげる親切は大きなお世話というものだ。次に、素敵な老後を作るのは、どれだけ多くの人とのつながりがあるかという事が大事である。色んな人との出会い、そのお陰で人生がある。逆に、どんなにお金持ちでも独りぼっちでは寂しい老後になってしまう。そして最後に、やっぱり健康であることが何よりだ。(記 中北 清)